

豊橋市老連だより

第51号

吉田春秋



■発行/豊橋市老人クラブ連合会 ■編集・印刷(株)博報社/名古屋市北区稚児宮通1-56 ☎0120-0212-09

就任のご挨拶

豊橋市老人クラブ連合会 会長 金田 好正

残暑の候、市老連会員の皆様にはますますご健勝で
ご活躍のこととお慶び申し
上げます。
さて、市老連の平成25年
度最重要目標は、「市老連
創立50周年を契機に老人ク
ラブの組織強化に努めよ
う」を掲げております。現
在、超高齢社会に突入して
おり、高齢者人口は増加し
ているにもかかわらずクラ

プの会員数及びクラブ数は
減少しております。そこで、
今年市老連創立50周年を迎
えるにあたり、あらためて
老人クラブの重要性を認識
し、若年高齢者が入会しや
すい雰囲気づくりに努め、
また「老人クラブ」という
名称に抵抗があるという声
もあることから愛称の募集
もを行い、イメージアップを
図っていきたくと考えてお
ります。
また、50周年の記念事業

として若年層が参加しやす
いスポーツ大会を計画し、
新規会員の入会を促進しク
ラブの発展につなげていき
たいと考えております。
今年度は、記念すべき年
でありますので、今一度老
人クラブの役割を再認識
し、新たな気持ちでクラブ
の活動を行っていきたく
思っておりますので、どう
か皆様のご協力をよろしく
お願い申し上げます。

平成25年度 新役員の紹介です

よろしくお願ひいたします



会長
金田 好正



副会長
野田 光司



副会長
松橋 正明



副会長
戸鹿島はつ子



会計
今川 智嗣



監事
小村とみ子



監事
村田 賢三



総務部長
鈴木 和男



広報文化部長
小山 正博



社会部長
兼に連木ブロック代表
森下 佐六



保健体育部長
兼につじが丘ブロック代表
山田 新吉



レクリエーション部長
兼石巻ブロック代表
安藤 隆之



生きがい事業推進部長
藤村 増男



交通安全対策推進部長
兼八町ブロック代表
原瀬 強



女性部長
石川 房代



女性部副部長
加藤けさ子



大岩ブロック代表
縣 孝一



牟呂ブロック代表
堀田 秀夫



高師ブロック代表
伊東 甫



清水ブロック代表
小島 力

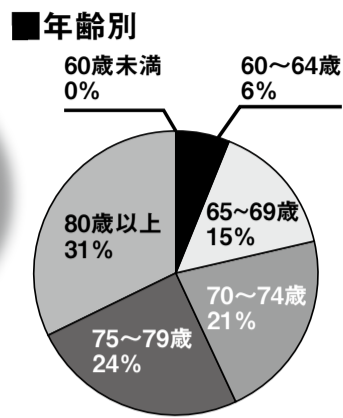


下地ブロック代表
田中 捷一

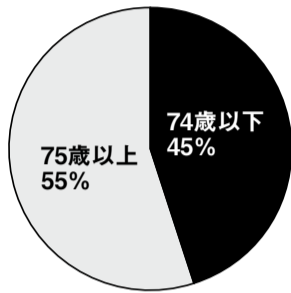
私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成 25 年度 市老連年齢調査

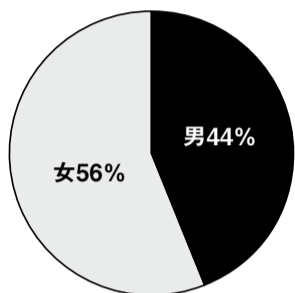
◎市老連会員数／
17,478 人
(男:7,603人、女:9,875人)
※74歳以下／ 7,344人
75歳以上／10,134人
◎市老連理事平均年齢
(平成 25 年度) 74.7 歳



■前期高齢者・後期高齢者 (75歳以上) 比率



■男女比率



平成 25 年度 最重点目標

市老連創立 50 周年を契機に老人クラブの組織強化に努めよう

平成 25 年度 重点目標

- 1. 積極的な加入促進運動の推進**
老人クラブのもつ地域での重要性を再認識し、創立 50 周年を契機に新たな事業の実施や親しみやすい愛称の募集などを通して若年高齢者がクラブへ入会しやすい雰囲気づくりに努め、活動を共にする仲間の輪を広げ、明るく楽しいクラブ活動を推進しよう。
- 2. 高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進**
日頃から交通事故に遭わない、起こさないという意識をもち、交通事故防止活動を推進しよう。また、災害時に備え、地域の人々との相互扶助の精神を育もう。
- 3. 高齢者福祉に対する意識向上と支援活動の拡大化**
独居高齢者や高齢者のみ世帯への支援を強化し、地域での高齢者の孤立化や引きこもりを防ぐため、「一声運動」や「友愛活動」をより一層推進し、地域の仲間への支援や激励に努めよう。
- 4. 健康保持と生きがい活動の推進**
健康で末永く暮らすために、スポーツ活動や、趣味活動などを積極的に行おう。また、地域の人や友人を誘い合い、仲間づくりに努めよう。

次に議事が行われ、藤城会長代行を議長に、議案第 1 号「平成 24 年度事業報告及び決算」、議案第 2 号「平成 25 年度豊橋市老人クラブ連合会役員員の選任について」が審議され、いずれも拍手で承認されました。これ



4月18日、豊橋市公会堂にて平成 25 年度豊橋市老人クラブ連合会総会が開催されました。
会員物故者に黙とうを捧げた後、藤城会長代行があいさつに立ち、「昨年 7 月に富安会長が亡くなった後老人クラブを率いてきましたが、皆さんのご協力により、無事乗り切ることができました」と感謝の言葉を述べました。続いて、公務で欠席の佐原市長に代わり豊橋市・井口福祉部長があいさつを行った後、顕彰に移りました。顕彰では、18 名に市長感謝状が、50 名に会長代行感謝状が贈られ、代表者が壇上で感謝状を受け取りました。



平成 25 年度 豊橋市老人クラブ連合会 総会

を受け、新たに就任した金田会長が議長に就き、「皆さんの協力を得て、魅力のあるクラブになるよう努力していきたい」と抱負を述べ、新役員を一人ずつ紹介しました。そして、議案第 3 号「平成 25 年度事業実施方針」、議案第 4 号「平成 25 年度事業計画及び予算」が発表され、ともに拍手で承認を受け、総会は無事閉会しました。

第 2 部はシニアリーダー育成事業講演会が行われ、講師の福和氏の話に参加者は引き込まれていました。



名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏

シニアリーダー育成事業講演会
過去の震災に学び
南海トラフ巨大地震に備える

一昨年の東日本大震災の際に、「想定外の」「未曾有の」といった言葉が多く使われましたが、歴史を振り返ってみると同じような震災は過去何度も日本で発生しています。東海地方でも 1891 年に濃尾地震が発生、7 千人以上が亡くなっています。しかし、多くの人がこのことを知りません。過去の震災から学び、それを後世に伝えていくことで、これから起こる災害の被害を減らすことができます。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成 25 年度 豊橋市老人クラブ連合会 事業計画

月 日	行 事 名	場 所
4.10(水)~12(金)	ブロック別会長研修会	各センター
4.18(木)	平成 25 年度総会	豊橋市公会堂
	平成 25 年度リーダー育成事業講演会	
5 月~8 月	シルバースポーツブロック大会	市内一円
6.7(金)	第 81 回高齢者囲碁・将棋大会	高師老人福祉センター
6.11(火)~12(水)	理事研修視察	静岡県地震防災センター
8.4(日)	機関紙「吉田春秋」8月号発行	
8.25(日)	いきいきフェスタ出展	ライフポートとよはし
8.29(木)	第 50 回豊橋市高齢者福祉大会 豊橋市老人クラブ連合会創立50周年記念大会	アイプラザ豊橋
9.15(日)~21(土)	第 1 回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間 (前期)	市内一円
9.20(金)	老人クラブ社会奉仕の日	市内一円
9月下旬~10月	市老連ブロック別演芸大会	各センター
9.26(木)	第 15 回高齢者ペタンク大会	陸上競技場
10.9(水)~11(金)	第 8 回とよはしシニアフェスティバル (第 45 回高齢者趣味の作品展)	豊橋市民文化会館
	(第 22 回女性部チャリティーバザー)	
	(第 36 回高齢者趣味の演芸大会)	
10.10(木)		
10.23(水)	第 37 回高齢者ゲートボール大会	陸上競技場
11.7(木)	第 15 回高齢者グラウンド・ゴルフ大会	豊橋球場
11.21(木)	第 23 回豊橋市シルバースポーツ中央大会	陸上競技場・豊橋球場
11.28(木)	市老連創立 50 周年記念事業 第 1 回高齢者ゴルフ大会	新城カントリー倶楽部
12.5(木)	交通安全街頭啓発	市内一円
12.18(水)	市老連創立 50 周年記念事業 第 1 回高齢者ボウリング大会	岩屋キャノンボウル
1.21(火)	市老連創立 50 周年記念事業 第 1 回高齢者スポーツ吹き矢大会	総合体育館
2.9(日)	機関紙「吉田春秋」2月号発行	
2.10(月)~16(日)	第 2 回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間 (後期)	市内一円
2.25(火)~26(水)	市老連研修旅行	未定
2 月~3 月	趣味の教室作品展・発表会	各センター
3 月	創立 50 周年記念誌発行	
未定 (通年)	高齢者自転車教室	各ブロック

老人クラブに期待すること

豊橋市福祉部長 井口 健二

豊橋市老人クラブ連合会
会々員の皆様方には、日頃より本市の福祉行政にご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本年は、豊橋市老人クラブ連合会が昭和38年に発足して以来、50周年という記念すべき年を迎え、その節目として更なる発展を促すため、若年高齢者の加入促進

進を目指し、高齢者ゴルフ大会をはじめとした新たなスポーツ大会の開催等様々な取り組みもされると聞いております。

この先の60周年、70周年と老人クラブが未永く発展していくためにはやはり次代を担う会員を確保していくことが必要になってきます。

多様な価値観とライフスタイルを身に付けてきた団塊の世代がいよいよ高齢者の仲間入りとなり、若年高齢者の増加が見込まれます。こうした背景もあり社会における高齢者の役割も大きく変わり、長年培った知識と経験を生かし、これまで以上に地域社会を支えていくような存在になっていくものと思っております。

老人クラブにおいても会員の高齢化というのはいくつかの課題でもありますが、この課題でもありますので、ごこういった世代の方が加入されればクラブ活動も活性化され、ますます充実したものになっていくものと期待しております。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第81回 高齢者囲碁・将棋大会を終えて

第81回高齢者囲碁・将棋大会が6月7日に高師老人福祉センターにおいて開かれました。囲碁対戦者74名、将棋対戦者32名、スタッフ18名の合わせて124名の参加でした。



8時30分スタッフ全員が

集合の後打ち合わせ。9時からレクリエーション部員5人で受け付けが始まり、次々とクジで対戦相手が決まり、予定時刻の9時30分には開会宣言に続いて連合会長あいさつがあり、開会式後熱戦の火ふたが切られました。

1回戦、2回戦そして3回戦へと対戦相手を替えながら対戦が進み、3回戦が終了した人から順次昼食となりました。しかし囲碁上級者で構成するA組の方の中には、午後1時半近くに昼食となり、お腹のすくのも忘れての真剣な対局姿勢

結果表 (敬称略)

囲碁の部 A (参加者...30名)		
優勝	中野 成善	東田
準優勝	寺岡 征一	多米
囲碁の部 B (参加者...28名)		
優勝	佐々木保明	高師
準優勝	梅野 道宏	高豊
囲碁の部 C (参加者...16名)		
優勝	鈴木 清之	玉川
準優勝	下島富米治	杉山
将棋の部 A (参加者...20名)		
優勝	緒方 東一	二川
準優勝	大羽 武夫	高師
将棋の部 B (参加者...12名)		
優勝	福田登史雄	福岡
準優勝	稲垣 実	芦原

囲碁A組から将棋B組までの5部門ともに2名ずつが決勝戦に勝ち残り、3時過ぎ、次々と優勝者が決定していきましました。表彰式において賞状と副賞が連合会長から授与され、その後記念撮影があり閉会となりました。大変スムーズな大会運営

がうかがわれました。囲碁A組から将棋B組までの5部門ともに2名ずつが決勝戦に勝ち残り、3時過ぎ、次々と優勝者が決定していきましました。表彰式において賞状と副賞が連合会長から授与され、その後記念撮影があり閉会となりました。大変スムーズな大会運営



私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

理事研修視察 静岡県地震防災センター

市老連理事会が理事研修旅行の行き先に静岡県地震防災センターを見学することを選定した直後に内閣や愛知県から、南海トラフ巨大地震が発生した場合の犠牲想定が公表された。

なんと豊橋市で2800人が死亡する、4万7千棟の建物が倒壊する、というビックリ。

静岡県防災センターは、東海地震に立ち向かうための知識と対策、設備の普及向上、防災意識の高揚を図るとともに自主防災組織の

活性化を図ることを目的に開館された、と説明を受けた。

マグニチュード9、震度7なるものの意味は防災センターへ着くまで分からなかった。地震体験コーナーの前後、左右、上下の3方向起震装置に乗って揺られて体験してはじめて、よく分かった。

直下型地震は怖い。南海トラフの三河の陸に最も近いと直下型に襲う。突き上げるタテ揺れは床面との空間ができるほどに飛び上が

る。

地震体験コーナーに乗り、安全手すりにつかまり、あらかじめ揺れることを想定して構えていても立ってられない。突然の地震に襲われたらどうだろう。

防災センターを見学した教訓の
第一は、家具類の転倒防止
第二は、家庭用備蓄品の見直し
第三は、避難経路と家族との連絡方法の見直し
そして、家具の下敷きにならない。2800人の中に入らない。手助けしたい。(総務部長 鈴木 和男)

お知らせ

第50回豊橋市高齢者福祉大会 豊橋市老人クラブ連合会創立50周年記念大会

ダイヤモンド婚(結婚60周年)・金婚(結婚50周年)を迎えるご夫婦等をお祝いするほか、市老連創立50周年祝いの記念大会を開催します。

開催日時 / 8月29日(木) 午後1時30分～
開催会場 / アイプラザ豊橋(旧豊橋勤労福祉会館)
開催内容 / 第1部 大会
(予定) 開会のことば、国歌斉唱、黙とう、あいさつ、顕彰、祝詞贈呈、思い出スライド、来賓祝辞、市老連愛称披露、大会宣言
第2部 記念講演、アトラクション



校区・単位クラブ活動



「2月27日午後1時30分より、今年も子どもたちとおひなさままつりにいらしてください。子どもたちも楽しみに待っています」との連絡をもらいました。花田校区老人クラブ連合会28名、園児43名が参加しました。会として、おみやげを持参しました。

会員の竹本鈴子さん94歳も、紙縫り4千本を、役に立ててほしいと渡しました。



今日は羽田保育園のおひなまつりの招待。朝は小雨が降っていたけれど、昼過ぎになると晴天に恵まれて、おひなまつり日和になりました。

門までかわいらしい園児たちのお出迎えで、一人一人手を引いて遊戯室まで案内してくれました。げんこつ山のためぎさんの歌に合わせて、ジャンケンをし勝った負けたと大はしゃぎ。ハシゴ遊びのゲームもしました。



このかわいらしい将来ある子どもたちに戦争のない平和な未来でありますことを願います。



花田校区

ひなまつり会

花二会 朝倉美代子

花田校区老人クラブ連合会24年度最後の行事として、12月23日、ペタンク大会を開催いたしました。

開催にあたりまして、自治会、PTA、子供会の皆様のご協力をいただきました。お礼申し上げます。

校区としては初めての三世代交流でした。おかげさまで楽しく親睦ができました。ペタンクは、ビュット(目標球)にボールが何個多く近づけるかを競うスポーツです。小学生、PTA、ク

花田校区

三世代交流

花二会 戸鹿島はつ子

クラブ会員の計90人と、応援する人を合わせると100人以上になりました。ボールが近くに届くと、ヤッター、ヤッターと飛びはねて喜び、ボールがとんでもない方向に行くくと残念の声。最初は思うようにボールを投げる事ができませんでした。最初は、初めての人もボールに慣れ、三世代が一つになり、おもしろさが出て楽しみました。花一、花

二、高砂会、西羽田、稲場がコート優勝しました。

このような機会のおかげで、お互いに顔を合わせる事ができました。いろいろお話もでき、あいさつもするようになり、大変うれしく思いました。

子どもたちの笑顔とパワーを十分もらいました。地域の皆さんと一緒に、元気で、仲良く楽しく行事ができました。

お知らせ

第8回とよはしシニアフェスティバル

第36回高齢者趣味の演芸大会

「趣味の教室」の演芸部門の皆さんが一堂に会して、日頃の練習の成果を発揮します。ジャンルは、民謡・舞踊・詩吟・歌謡曲・童謡唱歌・大正琴・健康体操・ダンスなどさまざまです。皆さんの熱い舞台をぜひご覧ください。

開催日時 / 10月10日(木)
 開場 午前9時00分
 開演 午前9時30分
 開催会場 / 豊橋市民文化会館 ホール



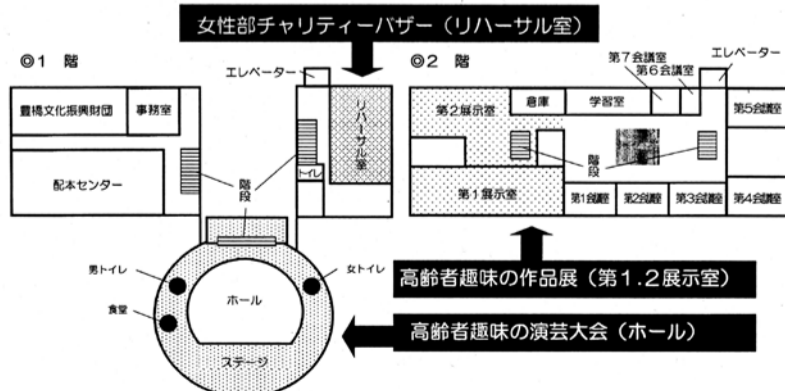
第45回高齢者趣味の作品展

市内の高齢者の皆さんが日頃趣味などで製作に取り組んでいる作品を出品し、展示します。日本画・洋画・ちぎり絵・絵手紙・俳句・写真・書道・水墨画・手工芸品など、毎年多くの方の素敵な作品をご覧いただけます。また、都市山村交流として、設楽町の高齢者の方々の作品も展示します。

開催日時 / 10月9日(水)～10月11日(金)
 午前9時00分～午後4時00分
 ※最終日は正午に終了
 開催会場 / 豊橋市民文化会館 2階展示室



豊橋市民文化会館 会場図



第22回女性部チャリティーバザー

豊橋市老人クラブ連合会では、毎年会員の皆様や地域の皆様から一品寄付を募り、女性部が中心となってチャリティーバザーを開催しています。

多くの方々にご来場いただけることを願っています。

開催日時 / 10月9日(水)～10月11日(金)
 午前9時15分～午後4時00分
 ※最終日は正午に終了
 開催会場 / 豊橋市民文化会館 1階リハーサル室

校区・単位クラブ活動

花田校区

浜岡原子力発電所を見学して

西羽田老人クラブ 羽田 光江

豊橋商工会議所の企画で浜岡原子力発電所を見学することができた。今、休止中の3、4、5号機の再稼働について地震・津波を防

くことが問題で防波壁を高さ18メートルでほぼ完成。次に敷地内に海水が入った場合建屋内に入らぬ対策、また予備電源を高所に確保して万一の場合電源を止めないようにすることだそう。地震対策は江戸時代の大地震に遭遇している

ので既に万全を尽くしている。津波対策が主である。また昨年末の内閣府の発表で19メートルの津波想定がされて、防波壁を4メートルかさ上げ追加する予定で基礎に負担のないように斜めに設置すると説明を聞き、展望台から全体を見学して構内に入る。

とと厳重な建屋内の危機意識のすごさに驚いた。今原発が発電していない代わりに武豊火力と渥美火力を再稼働させることで、老朽化した設備の修理再生と燃料の石油炭を外国から高値で輸入せねばならず、電気料金に影響することはやむを得ぬことで、天候に影響を受ける太陽光、風力発電はまだまだ不安定で効率が悪く期待できないという。オール電化住宅が増加し電気料金の値上げも停電も心配であり、今後の電力供給の安定性を期待したい。

芦原校区

歴史を学びつつ 晩秋の旧植田村を歩く

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

11月7日(水)「芦老連みんなでウォーキング・パート4」を62名の参加で行いました。今回は、今後の会員増を願う芦老連未加入の高

齢者の方々にも参加の呼び掛けをしました。この日は晴天に恵まれて風もなく寒くもなく、良きウォーキング日和となりました。電車で渥美線の芦原駅から次の植田駅まで乗車。隣の校区でも知らない所が多く、興味深く楽しく歩きました。特に8世紀時



代の神社仏閣では関心深く見学しました。前回はハーブなコースでしたが、今回は歩行距離約2キロと軽め

に設定をしました。各単位クラブの会長5名が、それぞれの役割を分担。途中、前方後円墳のある神社では、記念写真の撮影と美術博物館の村上学芸員さんからの丁寧なる解説を受け、多くの知識を得ることができました。また、隣の中央製乳(株)さんでの工場見学もでき、同社が創立75周年と聞き、これにも歴史を感じました。

行きも帰りも豊橋鉄道の駅さんが出張くださりスムーズに改札をしていただき、無人駅の不便さはありませんでした。ダイヤにご迷惑をかけずに安堵しました。初めての電車利用での

多米校区

第2回あそびの学校

第三和来会 小村とみ子

11月23日、前日豊橋市民俗資料収蔵室の窓に、てるてる坊主をつるしました。が、残念雨が降り、午前11時開校式が始まりました。各教室で地域交流のイベントとして約50のあそびブースが出展され、さまざまなお遊びが繰り広げられました。今回の参加者は400名を超えました。私たち老人クラブ20名は、教室廊下でにぎやかにあやとり、だるま落とし、お手玉、めん



こ、けん玉、羽根つきなど1つの遊びに2人で指導し、子どもさんの歓声と笑顔につつまれました。それ

を見守る保護者の方も多数参加されました。あちらこちらで大声を出し飛び跳ねたり、あやとりに参加された男の方は、最初から最後まで頑張って挑戦していました。

お弁当、焼きそば、団子、豚汁など係の方は大変そうでしたが、とてもおいしかったです。午後からてるてる坊主のお願いの結果か雨も上がり、広場で竹とんぼ、テントの中でボン菓子づくり。皆さん、音にびっくりしていましたが、上手につくり食べていました。裏庭では、広田フラワー様のミニ

福岡校区

地域に密着した活動を

有楽町円心会 山田 利夫

「ついでい、ふれあい、たすけあい」を基に、有楽町円心会も一致団結して活動しています。会員は54名(男性19名・女性35名)です。私たちの会の目的は、高齢

者の福祉の増進を図るともに会員相互の親睦を図ることです。今、全国的に大きな社会問題となっている、少子高齢化は、私どもの住む有楽町においても当然ながら、その傾向が続いています。現在、円心会の平均年齢も78・4歳となり、年々会員の数も減少しております。

人は生きている限り歳を重ねることは当然ですが、健康で楽しく、また、互助の精神で余生を過ごすことが大切です。有楽町円心会では、地域に密着した活



動をモットーとして、より住みよい町内のために微力ながら貢献しています。私たちの重点運動の一つとして、高齢者の地域内の孤立化を防ぐ目的で、外出できない人(寝たきり、歩行困難等)、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し定期的な訪問活動を実施しています。また、年間行事として、



毎月第2月曜日・第4月曜日は、入船公園の清掃、毎週水曜日、交通事故防止活動を、特に小学生低学年を対象に下校時に有楽町交差点で交通安全指導をしています。先日、町内役員全体会議のとき、PTA役員からも感謝をしていただき、円心会も微力ですが貢献をしていることと思えます。いくつになっても明るく、楽しく仲間の輪を広げたいと努力しています。

校区・単位クラブ活動

岩田校区

50周年を迎えて

中岩田げんき会 石川 房代

岩田校区では、最近どこ
のクラブも新しい活動を試
みています。隣の部屋が
騒々しいと眠れないよう
に、誰か火をつけたともな
く活気付いているように見
えますが、会員増にはな
なかつながらないよう
す。石の上にも三年が私の
口癖、そう言う私も、この
頃は、ちょっとしたこと
にカリカリして血圧が上が
りっぱなし。花だって種を
まいたら直ちに花が咲くわ
けではない。みんなで力を
合わせて、肥料をやり、水
をかけ、土壌づくりをする
しかない。今年度私たちは、
会の名前を「中岩田げんき
会」と改め新たな活動とし
て、懐かしい歌を歌う会を

立ち上げました。また、昨
年から取り組みを始めたコ
ミュニティカフェの充実に
向けて活動したいと考えて
います。

これらの活動のおかげで
良い仲間が生まれ、いろい
ろなことに挑戦できるこ
とをうれしく思っていま
す。これからもワクワクし
て、楽しい仲間づくりをし
ていきたいと思います。現
在我が国の高齢者は、3500万
人、このうち独居者は約
500万人だそうです。今
後また増え続け、超高
齢社会になると言われるが
私にはピンとこないけれ
ど、安定した社会づくりの
大切さは言うまでもありま
せん。安定した社会づくり



は自助・共助・公助が基本
と言われていますが、今日
の社会情勢を見ると共助が
十分に発揮される社会づく
りが求められています。そ
のに真つ暗闇な家もある。
ひよつとすると家人も絶え
て空き家なのかも知れぬ。
この世知辛い世の中で
は、不幸にしてホームを
失った方もいて、夜露しの
ぎに空き家をちよいと拝借
ということもあるかも知れ
ぬ。問題なのは、火の不始
末である。

火事の他、三河地方に
は、空き巣、忍び込みも多
発しているとも聞く。居直
りなど最も危険である。私
たち、シルバー・パトロー
ル隊がそんな現場に行くわ

飯村校区

パトロール

東山シルバークラブ
石川 純兵

山の端に寒月が、今
夜もほのかな光を伸ば
して、足元を援けてく
れる。そんな夜は、拍
子木の音もことさら冴
える。私たち東山シル
バー・パトロール隊は、
文字通り銀髪ぞろいで
はあるが、柄にもなく
「火盗改め」を気取っ
て、今夜も夜道を巡る。

我が東山地区というの
は、大岩町の火打坂、境
目、北山の3つの字地域で
ある。そこに530余りの
世帯が軒を連ね、静かに暮
らしている。
あの家は大家族が明かり
の数も多く、この家は老夫
婦だけなのか一部屋にぼつ
んと明かりがともってい
る。中には、宵の口という

の真つ暗闇な家もある。
ひよつとすると家人も絶え
て空き家なのかも知れぬ。
この世知辛い世の中で
は、不幸にしてホームを
失った方もいて、夜露しの
ぎに空き家をちよいと拝借
ということもあるかも知れ
ぬ。問題なのは、火の不始
末である。

火事の他、三河地方に
は、空き巣、忍び込みも多
発しているとも聞く。居直
りなど最も危険である。私
たち、シルバー・パトロー
ル隊がそんな現場に行くわ

岩田校区

岩田校区

北岩田三区老人クラブ「福寿会」

北岩田三区福寿会 村田 信男

私たちのクラブは、路面
電車終点(赤岩口)近くの
朝倉川に架かる蟬川橋から
まつもと橋の南側に位置
し、平成元年4月に発足し
たクラブです。

北岩田三区内の65歳以上
の方は約250名で、その
うち、老人クラブに入会さ
れている人は現在140名
ほどですので、加入率は今
一步です。

自治会からの助成金のお
かげで、平成23年度より会
費は無料となりました。それ
ゆえ、町内の高齢者は平等
に恩恵を受けるべきだと
の考えから、少しでも多く
の方が加入くださるよう
に、すべての活動状況を全
世帯に回覧でお知らせし
た上で、老人クラブ役員(11
世話人)が、一軒一軒伺っ
て、お誘いをしております。

当老人クラブの独自の活
動としては、総会や公園清
掃の他、花見、鞍掛神社の
清掃、小学生登校時の交通
安全立番、日帰り研修旅行
などを行っています。また、
町内公民館にて、敬老の日
の集い、絵手紙教室、短歌
の会、縁側カフェ(お茶を
飲みながら音楽レクリエー
ション、健康・頭の体操、
小中学校へ寄付する雑巾づ
くり、市出前講座)などを
行っています。

当老人クラブの悩みとし
ては、役員の高齢化が進み
役員を辞退する方が多いこ
と、新しく役員を引き受け
てくださる人がいないこ
と。また、会員数は増えて
が実際に活動に参加されて
いる人は少数であることな
どで、存続をも危惧する状
況にあります。

このように悩みは多々あ
りますが、まずは「老人
クラブを知っていただ
く」ことから始めていき
たいと考えております。

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています



校区・単位クラブ活動

東田校区 友達と友情 (新入会員歓迎スピーチ)

仁連木・東郷寿会 高橋 誠

会員57名(うち新入会員10名)、4月の総会で歓迎スピーチを行いました。

「心して本音で語る心地良さ」これは寿会川柳クラブの4月の吟題「心」から吟じたものです。この中の本音で語るは後ほど説明いたします。40年前、ある研修会で先輩講師より君は友達は何人くらいいるかねと尋ねられ、ゴルフ仲間、飲み友達等30人前後ですと答えました。友達を辞書で見ますと親

しく、つきあっている人でありました。学生時代(小学校から)、社会人時代、地域の方たち、共通の趣味を持った人、ボランティア関係の方たち等々の中で親しく、つきあっている友人は10名前後です。とくに初めに申しました本音で語る友人が何人いるでしょうか。本音とはお互いが相手の欠点を指摘(取りあげて示すこと)し合うことだと思えます。さりとて怖いですが、勇気がいります。ここです、心して本音で語ることを。

語った後の爽快さ、心地よさ、胸にシンときまします。お互いに笑顔で、しっかりと握手です。本当の友達と誕生です。そこで友達としての友情を持った人は何人くらいいるのか?私の場合、学生時代からの友達2名、社会人時代の2名、地域(共通の趣味を持つ)関係で2名と80年人生でわずか6名ということになります。貴重な財産です。皆さんはいかがですか。本当の友達は何人いらっしゃいますか?

東田校区

「親睦で絆を結ぶ川柳会」

仁連木・東郷寿会 板橋 章一

平成24年4月に、仁連木・東郷寿会川柳クラブを結成しました。

このクラブの高橋代表が、熱心に取りまとめでくださり、老人クラブ趣味の教室として登録してくださりました。

毎月第3土曜日の午前10時より12時まで仁連木町老人福祉センター内に会員が集まり行っており、内容は川柳を通して、長寿社会を明るく、楽しく、高齢者同士が生きがいを持って支え

合い、いたわり合って健康長寿で地域社会とも連携し「私たちの目標」健康第一、交通事故防止「一日一善」「一日一句」の川柳作りと「ひと声呼び掛け運動」を展開し、それぞれの個性で体験、経験を生かした川柳作りを行っております。

最近では、新聞、テレビ、ラジオ等で川柳が報道され、なるほどと感心し、子どもから大人まで幅広く読まれ、特に高齢者の脳トレに良く、また川柳は日本特

有の文化でもあり、喜怒哀楽を表現できることで、高齢者の認知症予防に最適と言われております。川柳クラブの内容をご案内いたします。毎月「こと」3句を詠んでいただき、そのうちの1句は決められた「題」で、後の2句は自由です。全体の句をまとめ、次回までに「覧表」にコメントを付けて発表します。



蕎麦に挑む PART II

牛川校区 北町友和会 高原 真市

10月20日、蕎麦の可憐な白い花が畑一面に咲きそろい、真夏に汗して耕し種をまいた苦勞を忘れ今は懐かしく思い出される。11月下旬には刈り入れ、12月上旬に脱穀の予定。全員で豊作を願う。

この間を利用して待ちに待った蕎麦打ちの日が決まる。11月8日、青陵地区市民館において第1回が開催された。2人の師匠を迎え2人1組で実習開始。蕎麦打ちには10行程があると教わる。水回し、くくり、菊もみ、へそ出し、丸のし、角出し、関分け、本のし、たたみ、切り、何一つわからないが師匠が丁寧に指導してくれた。見よう見まねで行程をクリアしていく。意外と力のいる重労働である。1時間後、何とかたみまでできた。いよいよ切りである。



る。マッチ棒の幅が理想ですと師匠の声。しかし切ってみるとこれが大変。意外とうまく切れた組もあるが不ぞろいである。他の組の出来栄を見て回り、きしめんた、うごんだと笑い合う。そして、茹で、水洗い、氷締めで完成。見た目は悪いが器に盛れば見栄えがする。つけ汁は師匠の持参。薬味は蕎麦畑の隅に植えた辛味大根と葉ねぎを使用。すり胡麻やわさびも用意する。

いよいよ試食会だ。「いただきます」全員が一口頬張る。「ウマイ!!」思わず声が出る。お世辞ではない。本当にウマイ。ほとんどの人がお代わりをした。師匠いわく、蕎麦打ちは切りと茹でだけで10年はかかるとのこと。奥が深い。師匠の手助けがあったにせよ1回目ではこれほどのできとは大成功である。全員がやる気になる。次回は自分たちだけで打つことに決まる。もちろんつけ汁も作る。さてどうなることか?

会員随想

老人クラブに就いて

清水水校区 大清水老人クラブ虹の会 水野 せつ

60代のころは老人クラブなんて遠い先のことのように思っていました。70歳になった時ちよつとよい節目だと思つて入会しました。家業も忙しいので例会には思うように出席できませんが、グラウンド・ゴルフには入会させてもらいました。スポーツするのが楽しくいつの間にか10年余りが過ぎてしまいました。何年たつても上達はしません。今年度こそはと毎回気合を入れております。夢の中では何度もホールインワンが出るのですが実際には厳しく、いつも無念の思いのみです。たまにはよい点をとることもあり、試合などでよい順位をとつたりすると本當にうれしく心の健康

にもなると思っています。毎日の散歩と週1回のグラウンド・ゴルフで矢のようには月日が過ぎていきますが、おかげで健康にも恵まれました。たまにお友達と外出したりする時も、スタスタと歩くことができ本當にありがたく思っています。命ある限り健康で楽しい毎日を通させますように感謝の心を持って過ごしたいと思つていきます。

若い方たちの中には、老人クラブを敬遠している方もありますが、チャンスがあつたら入会してカラオケや絵手紙、スポーツ等楽しくするためのクラブに入会することをお勧めします。

3月紀行 春を訪ねて

牛川校区 若宮町ことぶき会 豊田 しげ

出掛けますよの声に皆そろいて歩み始める。着いた所は、大口公園で並ぶ碑、市に提供者の名前が記してあり立派な碑である。振り向けば俳人小南山史・加藤康人両先生の碑。少し離れた

て古城跡の碑。しばし行む。大河ドラマと重ねて考え楽しむ。話し声のする方を見れば梅林である。歩を早め、腰を下ろして一服してお茶を頂き、色とりどりの花を眺める。きれいだ。どこからともなく鳥の声。静かである。心が和む。青空の下、友の笑顔。楽しい春の一日であった。

'12・9 紀行
オーロラ

玉川校区 東森岡悠友会
河合 功恭

セントレアを出て13時間、アイスランドのケブラヴィークに。首都レイキャヴィークのホテルでまず生ビールで一息、「うまい」。

2日目、北部の町アーケレイリ経由でミーヴァトン湖畔の宿に。前は湖岸、裏は丘に教会。周囲は牧草地とのがかである。午後10時ごろ、窓を叩く音に目を覚

どうなった
「赤い靴」の女の子

栄校区 小松町長寿会
伊藤 信平

赤い靴はいてた女の子／異人さんにつれられて／行っちゃった(以下略)

ある日この曲を聴いていて、その先のことを知りたくなりネットなどを開いてみた。

この童謡の母体は、菊地寛(菊池寛とは別人)著「赤い靴はいてた女の子」で、女の子はきみ、母は岩崎かよといい静岡市清水区に実在した。2人は事情があった北海道へ渡った。しかしきみは3歳の時米人宣教師夫妻の養女になる。夫妻が帰米のときみは結核のため船旅は無理と6歳で孤児院に預けられ、9歳で死亡した。と涙を誘う物語となっていた。

まし外を見る。「オー、オーラだ」と大声。他の部屋の友を起し何を着て何を持ったか定かでない慌てようて裏の牧草地に出た。Y、Mさんの2人はカメラをセットして待っていた。「これから出るよ」とMさん。緊張感が漂う静かで寒くない丘の彼方に青白色の雲のようなものが現れた瞬間、頭上の空一面に広がり、帯状、リング、カーテンと変化するさまは正にオーロラの舞いである。10年前ごろから憧れていたものが見れ

これが菊地本の概要である。そしてこの悲話から、以後日本平ほか関係4カ所に寄付金等で赤い靴にまつわる碑が建てられた。

ところで、後年この物語に反論、「捏像はいてなかった赤い靴」が阿井涉介著で出版された。著者は綿密厳格な文献調査、実地踏査、事情調査で一つ一つ事実を積み重ね菊地本を覆した。きみは「赤い靴」のモデルではなく、宣教師の養女に出された事実もない。そして孤児院で短い命を閉じた、という。

なぜ母はかわいい年頃のきみを施設に預けたのか。子の薄幸過酷な人生を知れば一生の痛恨事として母は苦しみ続けたであろう。

今の社会にもこのような不幸は現実にある。拙柳句「叫んでる母さんごとく赤い靴」

た感激と安堵が混ざり合った声を出していたが覚えがない。1時間ほどのショーでこの旅の最大目的が成ったうれしさと興奮で寝付けない夜となった。

4日目、レイキャヴィークに戻り午後10時、徒歩20分ほどの海岸のポイントに向かうが空振り。5日目、前日と同じ時間、場所に行く。海からの冷たい風が吹き寒い。誰がどこにいるのか判別できないほどの暗闇でひたすら空を見上げて待つ。対岸の明かりの上空に突然現れると喚声があちらこちらであがる。1時間ほどのショーで終わるがアンコールはなし。

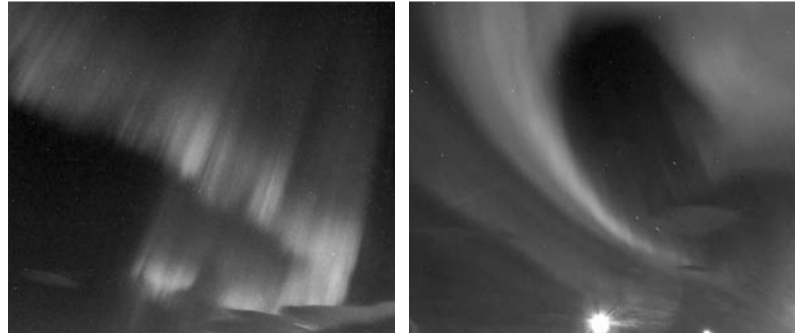
5夜見に出たが2夜見れたのであった。昼間はアイ

心に平和の砦を

飯村校区 第二飯寿会
西川 文字

昭和18年ごろから食糧難で、何でも配給の生活でした。食事はお粥が主でしたが、メリケン粉に煎った米糠や、粉にしたよもぎを混ぜて団子を作りました。そんな粗末なものでも、授乳中の私には、おいしく感じられたものです。

鍋や釜の金目の物、指輪等の貴金属、お寺の鐘まで軍資として供出しました。「欲しがりません勝つまでは」をスローガンに、白工プロンに国防婦人会のタス



'12.9.5 ミーヴァトン湖ホテル裏



'12.9.5 ミーヴァトン湖ホテル裏

'12.9.7 レイキャヴィーク海岸

スランドの観光地回りや市街地散策、天然温泉へ、夜間はオーロラ鑑賞とハード

な旅であったが、私の人生で思い出の一つとなった。

キ姿で、駅へ軍の列車が入るたび「万歳、万歳」と唱和して見送りました。国のために死を決して戦地へ行かれるのですから、皆真剣な表情でした。

私の友人は、敵機に体当たりして戦死。生きて帰還できた友人の話では「弾丸は底をつき、3日も飲まず食わず。マリアにかかり『水が欲しい、いっそ殺してくれ』と足にとりすがられるが手術もなく、黙々と死体の上を行進し続けた」とのことです。

本土では、「降伏せよ」と気味悪いラジオ放送、また飛行機からは「日本早く降伏せよ。さもなければ

もっと大きな爆弾を落とす」とビラをまきます。でも私たちは絶対に日本は負けないと信じ平気でした。洗脳されていたのでしよう。それがあの原子爆弾投下とは…。

もっと早く日本政府が終戦を決断できなかったか。何のための戦争だったのか私にはわかりません。尊い生命の犠牲のおかげで今の幸せがあることを忘れてはなりません。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かねばならぬ」(ユネスコ憲章前文より)

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

花見をして ウォーキング

野依校区 楽友会
小野田 治

春になりますと、自然界は、寒い冬から目覚めまして、うちの団地でもいの一
番に木蓮の枝に花だけが大き
くポツカリと居座って、
ひとときわ注目を浴びていま
した。それを口火にさまざま
まの花が咲き誇り、にぎや
かになりました。

その陽気に誘われ、花見
の話がチラホラとささやか
れ、ついに4月1日、近く
の緑地公園(西)と決定。
その間10日間ほどありま
したが、寒さ暖かさがあり
ましたので、いつ満開にな
るかとお肝を冷やしたこと
が、でも、常日頃の行いの
おかげもありました。当
日は万々歳となりました。
やっと希望が叶えられたの
です。本当にうれしかったです。

現地に到着して、まず記
念写真をどこで?また、席
順は?等がありました。が、
女性にお任せということ
で一件落着。
コースへ入る道路では小
汗をかいた所もありました
が、コースに入ってから
松林が太く高いので、日除
けになり適度の気温で助か
りました。国道259号線
では、信号待ちの乗務員
の方々がしきりと手を振っ
てくださりましたので、本
当に楽しかったです。



俳句

会員文芸

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
場所取りのブルーシートへ桜散り
白井 善晴
■岩田校区 東岩田長寿会
雨降りて桜吹ぶきが玄閑に
加藤カツエ
訪なへば和尙くさめの返事かな
片桐 幸枝

に和やかな雰囲気漂って
楽しかったのです。
お弁当は一括注文の助六
(大)でしたので、各自持
参のと違って、それぞれ
を使わずに済んだことはリ
ラクスとした一因にもな
りました。
桜も見頃、陽気に恵まれ、
本当に楽しかったです。

大規模地震が起きた際、
誰がひとり暮らしの高齢者
を助けるのか。この難題に
対するため、吉川町自治会
では、一昨年の東日本大震
災を受けて、これまでに要
援護者の名簿を作成したほ
か、独自に避難用のけん引
式車いすを5台、リヤカー

地域一丸で取り組む 「要援護者対策」

「弱者」支援を
吉田方校区 吉川男女の会
井川 襄

すでに町内3カ所に配備
し、万が一の時には、名簿
をもとにこの特製車いすを
引いて駆け付けすることに
なっています。
さらに、今後は町内会の
会員を対象に、大規模災害
に備えた防災・減災組織を
作る予定です。また、計画

初めの市役所
多米校区 第一和来会
柴田七海子

用事ができて、市役所
に行くことになった。1週間
くらい前から眠れなかつ
た。
前の日に主人と下見に行
き、若者や中年世代にメ
ンバーになってもらい、防
災訓練を企画・運営して
もらうほか、町内に顔の見
える関係を張り巡らせて互
助精神を高めてもらう予
定です。

今年こそゴーヤのれん確りと
安平 好男

我が家にも一人生活末の孫
早川 郁代

■富士見校区
ニューレイク第一クラブ

■谷川校区 中原町立岩会
木綿糸通せし己れ水温む
ユーモアをジョークで返す四月馬鹿
朝倉 政敏
たんぼばや日毎に茎が伸びにけり
松井 克己

■豊校区 三ノ輪本町本寿会
砂路を走り続けて春の浜
磯部 馨
春を待つ四季ある国に住みついて
稲葉 春夫
花太りランキユラスのシャンデリア
鈴木 豊

■松山校区 東松山町睦クラブ
老人の公園掃除春一番
荒井須磨子
恐しや鳥も流さる春一番
堤 昭雄

■吉田方校区 野田町若波会
前髪に菖蒲結びて孫はしやぎ
河合 昭子
■野依校区 楽友会
麦秋や雲雀の尾形いずこかな
斉藤 勇

■老津校区 老津俳句会
短夜の闇を刻みて終列車
中村きよ子
春惜しむ惜しむ余生にあらねども
彦坂 たか

初めて市役所

多米校区 第一和来会
柴田七海子

く。東館に行くのに西館に
車をあいた。外から東につ
いて地図を見たり人に聞いて
ようやくついた。帰りに
車をさがすのに行ったり来
たりで30分くらいかか
た。
次の日、1人電車に乗
って市役所前でおいて前を見
たら、東館が見えてすこ
ううれしかった。中に入った
ら公園だった。間違わない
ように早く出て来たので1
時間くらい待っていた。用
事がすんで帰りの電車で1
人笑えてきた。何かうき
きしてうれしい気分にな
った。
私の一人旅でした。

平成7年の阪神・淡路大
震災では、日頃から地域コ
ミュニティ活動の活発たつ
た地域が、「あの家には、
おばあちゃんに住んでい
た。助け出そう」などと声
を掛け合い、救助に励んだ
そうです。
最大震度7が予想される

■清水校区
大清水老人クラブ虹の会
「揚げ雲雀」
トラクター耕す広野揚雲雀
水野 せつ

■老津校区 老津俳句会
短夜の闇を刻みて終列車
中村きよ子
春惜しむ惜しむ余生にあらねども
彦坂 たか

■野依校区 楽友会
麦秋や雲雀の尾形いずこかな
斉藤 勇

■谷川校区 中原町立岩会
木綿糸通せし己れ水温む
ユーモアをジョークで返す四月馬鹿
朝倉 政敏
たんぼばや日毎に茎が伸びにけり
松井 克己

■豊校区 三ノ輪本町本寿会
砂路を走り続けて春の浜
磯部 馨
春を待つ四季ある国に住みついて
稲葉 春夫
花太りランキユラスのシャンデリア
鈴木 豊

■松山校区 東松山町睦クラブ
老人の公園掃除春一番
荒井須磨子
恐しや鳥も流さる春一番
堤 昭雄

■吉田方校区 野田町若波会
前髪に菖蒲結びて孫はしやぎ
河合 昭子
■野依校区 楽友会
麦秋や雲雀の尾形いずこかな
斉藤 勇

■老津校区 老津俳句会
短夜の闇を刻みて終列車
中村きよ子
春惜しむ惜しむ余生にあらねども
彦坂 たか



私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

もろもろの別れもありて春蘭ける
石田 初江
付添の窓の夕暮春惜しむ
三浦 松代

追いかける風の足跡麦青む
彦坂 博子
春を待つ物の鼓動や足裏にも
西崎 紘子

若竹の直ぐなる園や俳聖碑
彦坂 和子
咲きほこるものみな散りて夏めけり
別所 善子

残雪の山並はるかあかね雲
鈴木 純夫
夏めくや木の間を駆ける風の色
高橋いすゞ(先生)

■杉山校区 みその俳句会
土筆つみ孫に教へし袴取り
花井 稔
言ひ放題いふも余生や名草の芽
市川 淑洋

懐石に土筆も小鉢でもてなされ
田中 秀幸
歌壇にて友の消息花の歌
彦田 純子

つくばいの水にひと花紅椿
竹内 澄子
老いてなほ文語ひもとく夜半の春
井土 幸子

短歌

■大崎校区 大崎第一クラブ
農協より田の苗持ちにきて欲しと
連絡ありて忙しき近し
山本 絹代

■大崎校区 大崎第二クラブ
海好きの人集い来る大潮に
牡蠣を取りつつ互いに語らう
田中さな江

■大崎校区 大崎第三クラブ
海苔牡蠣を採りし辺りは何処ならん
高台に見る工業地帯
近藤美代子

石南花の色鮮やかに咲きほこる
庭隅明るし二鉢競いて
高田よ志子

■飯村校区 シニアクラブ同好会
遊歩道落葉散る中掃除する
御苦勞様と声かけて行く
長坂 一昭

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
週一度楽しく会いし同輩の
趣味のカラオケ心癒さる
白井 善晴

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
「三谷秋祭り」
上げ潮に出車躍り出る秋の浜
見物客も拍手喝采
沖村 敏博

■岩田校区
北岩田三区老人クラブ福寿会
それだけで老いの心は満たされる
ハープテイー飲む午後ひととき
伊藤みつよ

お互いの余生の暮らし気遣って
やはりうれしい友のたよりは
村田 信男
咲き競う池のほとりのそめい吉野
散りおえし今すがた淋しいや
大野 興子

■鷹丘校区 忠興絆クラブ
八十路すぎ運転免許有る身なり
今日一日の無事故祈りて
鶴田 豊子

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会
蔵採り主人の後に続きしも
目残し多く笑い止らず
横田 久枝

■老津校区 老津喜楽会短歌教室
おのおのが意思もつごとく芽ばえたる
木々のみどりは勢いもちて
石田 初江

かきつばた初夏の訪れ告げくれし
風と光にこころ癒され
鈴木きみゑ
何ごとも若いつもりであれこれと
励んでみてもやはり年かな
鈴木 元恵

時来れば去年と同じく咲き誇る
人は変われど花は変らず
中村 弘子

六羽の子葉いつばいに育ちたり
巢立ち間近か羽ばたき始め
彦坂 貞子
足早に行く制服の新入生
ぎこちなき微笑をさそえり
伴 夏枝

手探りで八十路の標みつけたし
慣れぬ事故故迷い多けれ
伴 幸子
いざ吟ぜん発表会での出番では
毎年だけれど声があわづる
伴 幸子

在りし日の夫と歩んだ桜道
巨木に咲いた一輪の花
柵木 早苗
グロープのごとき両の手さしのばし
働き終えたとき云いし唄は
三浦 松代

春うらら湖畔の桜三分咲き
雨も降らずに一日くれゆく
原田 玲子
■野依校区 楽友会
柳ふく風ゆらぐるは幾何学に
それにこたえてつばめカスメル
相原 優介

あかぎれや所作にひびかずいえしとも
野良の仕事に精も出るかも
相原 和代
■前芝校区 ともの会
歳の香におのづと馴染み五十年
子のふる里となりしこの町
松下 正子

■前芝校区 梅数福寿会
恙なく母の齢を越しにけり
生あるかぎりていねいに生きたし
山本 幸代
■幸校区 南松原寿会
母の日の薔薇は数多の鉢植に
夫の手入れて狭庭華やぐ
大橋 睦子

水温む岸辺に花の競い咲き
鳥立ち往きて水面しずまり
金子 浩吉
天正の昔を偲ぶ設楽原
甲軍跡に高速道とは
菅谷 益夫

■豊校区 西岩田親睦クラブ
横文字の花の名前が言へぬまま
過ぎ来し朝ふと口に出づ
金田 英子
■松山校区 前田南町第二長寿会
「野すみれ」
確かこのベンチの下と覗きみる
今年もはつか野すみれの咲く
寺部 順子

■松山校区 東松山町睦クラブ
「丘の夕焼」
丘の上の茶房も庭も犬小屋も
つつみて赤きあかき夕映え
河合 實

■岩田校区
平岡区老人クラブ若竹会
咲く迄は紅白不明梅の花
白井 善晴
■吉田方校区 野田町若波会
句会行く春中まるめて母八十路
河合 昭子

■東田校区
仁連木・東郷寿会川柳クラブ
「交通安全」
危険予知我が身を守る回り道
板橋 章一

安全は家族の幸せ呼んでいる
急がない回り良く見て横断を
高橋 誠
怪我をして気を病むよりも先ず安全
急ぐ時信号赤ですひと呼吸
大石 綾子

急ぐ時信号赤ですひと呼吸
急ぐ時信号赤ですひと呼吸
藤井 克代
ランドセル左右見ている停止線
事故減らす妙案はただ心がけ
榎島 謙一

あわてずに次ぎの信号待つゆとり
おばあちゃん僕と渡れば大丈夫
佐原 久代
夜間ではプレート付けて事故防止
鈴木いと子

■野依校区 楽友会
介護予防成し遂げうれば大往生
他人をば褒めたたえればおのれにも
生活の予防対策これいかに
腹八分自分のことできもせず
簡井 健二

ウオーキング基礎代謝にはこれですぞ
土作り食べてわかるが根くらべ
真つ当な政治をするか分岐点
田中 いと
絵手紙も孫に負けじとのぞき見る
若作りそれほど他人は見えてくれず
伊藤 栄典

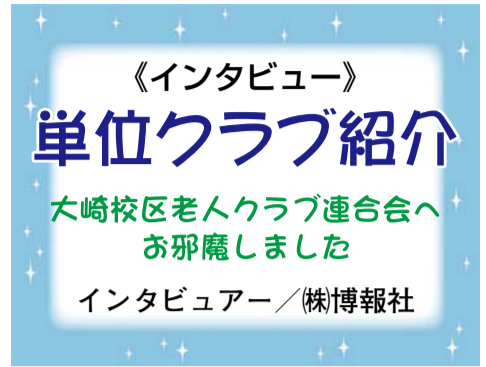
考えるすれどもう一つ一昔
和田たず子
■杉山校区 杉山川柳会
「まだ」
まだいいと新聞ひろげ鍋こがす
まだいける自立高めて八十路坂
市川 淑洋

まだ元気根性見せて娘に便り
若葉見て我れまだまだと腰のばす
ABC Dと書いて学んでまだ未熟
竹内 澄子
お世辞でもまだお若い心地よい
花井 稔

■多米校区 第一和来会
きんえんを今日やるあすやる今でしよう
ダイエット一回絶食二倍食べ
流行語テレビの力でもりあがる
行き帰り同じ道でもまらがる
尾崎きく代

リハビリを子スズメよりそい慮えんか
坪内 英子

私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています



市老連創立以前に、すでに老人クラブが結成されていたという大崎校区。今年度、校区内の4つの単位クラブすべてで、大幅に会員を増やすことに成功したその秘密に迫ります。

□世帯に対して会費徴収

近年、校区全体の会員数が徐々に減少していたため、対策を考える中で発見したのが「意外と世帯で加入している会員が少ない」ということ。そこで、昨年度までは個人に対して会費を徴収していたのを、今年度からは世帯に対して徴収するように変更しました。

この決定を受け、各単位クラブの役員が一軒一軒訪問。会費は同じなので、世帯の65歳以上の人はみんな入会してもらおうようお願いしたところ、各クラブとも大幅に会員を増やすことに成功。校区全体で、昨年度より約100名会員が増加しました。また、役員の中からは「入会をお願い



いする中で、普段交流のない人と交流することができてうれしかった」という声も聞かれました。

□社会奉仕活動

毎月20日、朝8時から約2時間、大崎小学校で除草活動を行っています。終了後、みんなでコーヒーを飲みながらおしゃべりをして帰るのが楽しみです。その他にも小学校との交流を積極的に行っており、竹とんぼやけん玉等の昔のあそびを教えたり、老人クラブで作った手縫い雑



巾を贈ったりしています。また、春に小学生と一緒にもち米を植え、秋に収穫、みんなで餅つきをしてお餅を食べる交流は、20年以上続いています。



□今後に向けて

会員も増え、これからいろいろな行事を増やし、充実させていきたいと役員の方々は考えています。これまでも、歌謡教室やおしゃべり会が少人数で行われていましたが、これからは、活動の中心である大崎校区市民館で校区の月例会を開き、吹き矢やゆっくり体操等の健康増進に役立つ活動をしたり、ホームシアターを購入して映画鑑賞会をすることなども検討中です。斬新なアイデアと役員の方々の努力で、会員を大幅に増やすことに成功した大崎校区老人クラブ連合会。会員が増えた今、次はより魅力あるクラブを目指して奮闘中です。

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。
豊橋市老連 広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します(写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします)。
◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつお願いします。
◎必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り/11月末日

◎投稿先/豊橋市老人クラブ連合会事務局

(豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内)

☎51・2337

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。
豊橋市老人クラブ連合会



私たちは、豊橋市老人クラブ連合会の活動を応援しています